

新年度がスタートしました

4月9日に79名の新入生を迎え、全校生徒252名で令和4年度のスタートをきりました。1年生は、11日にはビデオ動画による部活動紹介、2、3年生との対面式を実施し、12日には校内研修会を開催しました。なるべく早く邇摩高校での新生活に打ち解けていって欲しいです。2年生は、自分で選択した系列の授業が本格的に開始されます。邇摩高校での生活にも慣れ、いろいろな場面で活躍して欲しいと願っています。3年生は最上級生としてリーダーシップを発揮しながらいろいろな行事等で下級生を引っ張って行ってください。また、県総体など部活動の集大成、そして進路決定と邇摩高校での高校生活悔いのないよう励んでください。

1年生校内研修で私が話したことから全校生徒に改めて伝えておきたいことをまとめました。

多様性を認め、広い心で寛容し、共創していく

多様性（ダイバーシティ）とは、性別・年齢・国籍などの属性的条件や価値観やライフスタイルなどの思想的条件などそれぞれの人々がもつ多種多様なバックグラウンドのことです。多様性は相違性でもあるため、しばしば摩擦やあつれきを生むこともあります。

そこで、個人の違い（多様性）を認め合い、尊重し合い、広い心で人の言動をよく受け入れ、人の過ちや欠点を厳しく責めないで（寛容）、そして、多様な立場の人達と対話しながら、新しい価値を「共」に「創」り上げていくこと（共創）が求められます。

凡事徹底・日々新生

「凡事徹底」とは、特別なことではなく、ごく平凡なことを徹底してやり抜くということです。平凡なことを徹底してやることで差別化（強み）になります。

「日々新生」とは、当たり前の中にも新たな価値を見いだす視点を持つという気持ちです。

皆さんに実践して欲しい「凡事徹底」とは、「時を守り、場を清め、礼を正す」です。

イチロー選手の名言の中に「小さいことを積み重ねることが、とんでもない所にいくだけ一つの道」というのがあります。

植松努先生『「思うは招く」講演会より』

ぜひ読んでください。

「思うは招く」とは、思ったらそうなるよって意味です。思い続けるって大事です。僕は今できないことを追いかけることが夢というんじゃないかなって思ったんです。人間が生きてく上で大事なことは、できなかったことができるようになることなのかもしれません。

ある先生は「どーせ無理」という言葉をよく使っていたんです。この「どーせ無理」という言葉がおそろしい言葉なんだと思いました。これは人間の自信と可能性を奪ってしまう最悪の言葉です。でも人間は生きていくためにはどうしても自信が必要なんです。

自信を取り戻すためには「やったことがないことをやってみる」なんです。やったことがないことをやったら、それだけでちっこい自信が湧いてきます。だからマズイと思ったら逃げるのも絶対アリなんです。でもそのときに失敗した自分を、逃げた自分を、諦めた自分を責めないでください。へこまないでください。そんなことする必要ないです。「ただ今成長中！」って言えばいいんです。

そんな僕らは今生まれて初めての一回きりの人生をぶっつけ本番で生きているんです。「自分なんて・・・」って思わないでください。できない理由を探すのではなく、できる理由を考えてください。でもやったことない人はできるわけないってさんざん言いました。でも母さんは「思うは招く」って教えてくれました。思い続けたらできるようになりました。「「だったらこうしてみたら？」で夢は叶う」なんです。その方が絶対楽しいです。だからお互いに夢を喋ってお互いに「だったらこうしてみたら？」って言ってたら全員の夢が叶ってしまいます。だからぜひこの「だったらこうしてみたら？」が世界中ではやったらいいなあって。そうしたら「どーせ無理」がなくなるなど思えますのでぜひみんなで「だったらこうしてみたら？」をはやらせていきたいと思えます。